

特 記 仕 様 書

業 務 番 号： 東農水（整委）第 15 号

業 務 名： 小湊ほ第 3 号委託

業 務 場 所： 東津軽郡平内町大字小湊地内他

履 行 期 限： 令和 9 年 2 月 26 日

第1章 総則

(適用範囲)

第1条 本業務の施行にあたっては、「測量業務共通仕様書」、「地質・土質調査共通仕様書」、「農村整備設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という）によるほか、この特記仕様書によるものとする。

(目的)

第2条 この業務は、県営小湊地区経営体育成基盤整備事業の事業実施に必要な測量・設計を行うものである。

(業務内容)

第3条 前条の目的を達成するため、次の業務を行うものである。

業 務 内 容	数 量	備 考
水路工 測量・設計	一式	

(場所)

第4条 業務位置は、東津軽郡平内町大字小湊地内他で、別添位置図に示すとおりである。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第5条 本業務に関しては、第7条の参考図書を優先して適用する。他の図書を適用する場合は調査職員と協議するものとする。

(作業条件)

第6条 測量及び設計作業における条件は次のとおりである。

項 目	内 容
測 量	本作業の目的を十分理解し、後続の設計作業に支障とならないようにすること。
設 計	地元及び調査職員と十分打合せのうえ、要望、基準等を念頭に設計作業を進めること。

(参考図書)

第7条 測量及び設計作業の参考にする図書は、共通仕様書によるほか、次によるものとする。なお、下記図書で最新版が発行されている場合は、その旨調査職員に報告すること。

名 称	編者・著者・発行所	制定（改訂）年月
青森県農業農村整備事業測量作業規程	青森県農村整備課	R7.10.1
測量業務共通仕様書	青森県県土整備部	R7.10.1
地質・土質調査共通仕様書	青森県県土整備部	R7.10.1
農村整備設計業務共通仕様書	青森県農村整備課	R6.4.1
土木製図基準（JIS A 0101 土木製図）	土木学会	H29.3
土地改良工事標準積算基準（土木工事）	農林水産省農村振興局	R7 年度
土地改良事業計画設計基準 計画基準 ほ場整備（水田）	農業農村工学会	H25.4
農業農村整備事業設計積算の手引き	青森県農村整備課	R6.4
青森県農業農村整備事業設計業務マニュアル	青森県農村整備課	R3.4
土地改良事業標準設計（ほ場整備）標準図集	青森県農村整備課	H29.4
設計業務照査の手引書	青森県農村整備課	H21.4
その他	調査職員が指示した図書、資料等	

(貸与資料)

第 8 条 貸与資料は次のとおりである。

貸与資料名	部 数	備 考
県営小湊地区経営体育成基盤整備事業調査計画委託報告書	1 部	

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第 9 条 参考図書及び貸与資料、共通仕様書に示す参考図書等の取扱いは次のとおりとする。

- 1 参考図書及び貸与資料の記載事項で相互に矛盾がある場合や解釈に疑義が生じた場合は、調査職員と協議すること。
- 2 参考図書は設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、調査職員に報告すること。
- 3 参考図書は原則として、第 1 回打合せ時に一括貸与するものとし、調査職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第 3 章 測量及び設計作業内容

(測量及び設計作業項目及び数量)

第 1 0 条 本業務における測量及び設計作業項目、数量並びに図面枚数は次のとおりである。

項 目	数 量	内 容	備 考
測量業務	1 式		
基準点測量	1 式		
3 級基準点測量	20 点	公共測量の 3 級基準点測量を行う。	成果は小湊 は第 1, 2, 4 号 委託へ
4 級基準点測量	7 点	公共測量の 4 級基準点測量を行う。	
水準測量	1 式		
4 級水準測量	1. 29km	近傍水準点から地区内までの 4 級水準測量を行う。	
路線測量	1 式	平地-耕地	
作業計画	1 業務		
IP 設置測量	1. 29km		
中心線測量	1. 29km		
縦断測量	1. 29km	1, 000 台未満/12 時間	
横断測量	1. 29km	1, 000 台未満/12 時間	
地形測量	1 式		
現地測量 (Ⅰ)	0. 065km ²	現況平面図を作成するため現地測量を実施する。測量は基準点を基礎とし、トータルステーション測量機器を使用し行う。	
現地測量 (Ⅱ)	1 式		

項 目	数 量	内 容	備 考
用地測量	1 式		
地図の転写(法 14 条地図)	1. 94ha	耕地	
転写連続図作成	1. 94ha	耕地	
設計業務		ほ場整備 実施設計 用水路（開水路）難易度補正Ⅰ 補正率 1. 00	$Q < 2\text{m}^3/\text{s}$
1 現地調査	1 式	実施設計に必要な調査を行う。	
2 資料の検討	1 式	実施設計のための貸与資料を整理し、内容を把握するとともに、作業計画を樹立する。	
3 設計計画			
3-1 基本条件の検討	1 式	詳細実測資料に基づき水理構造条件を決定する。	
3-2 水路タイプ及び断面形状の検討	1 式	水路タイプ及び実施断面の詳細を決定する。	
4 水理検討	1 式		
4-1 水理計算	1 式	各種損失水頭の計算及び実施断面毎の水理計算を行う。	
5 構造計算	1 式	各実施断面についての詳細構造計算を行う。	補正 0. 5
6 構造図作成	1 式	構造一般図の詳細図を作成する。	補正 0. 17
7 平面縦断図作成	1 式	平面縦断図に全タイプの位置及び断面の表示区分を記入する。	補正 0. 60
8 土工図作成	1 式	土工横断図を作成し施工区分（単価区分）毎の詳細を記入する。	補正 0. 50
9 数量計算	1 式	工事毎、施工区分毎、タイプ毎のコンクリート、附帯工材料、仮設工材料等の詳細数量計算をする。	補正 0. 42
10 施工計画	1 式	施工基本方針の検討、工事用道路計画の作成をする。	補正 0. 25
11 概算工事費積算	1 式	概算工事費の積算を行う。	補正 1. 00
12 総合検討	1 式	上記の各作業について総合的に検討する。	補正 0. 83
13 照査	1 式	照査する。	補正 0. 85
14 点検とりまとめ	1 式	水理構造計算、数量計算の点検、図面の点検取りまとめ及び報告書作成を行う。	補正 0. 86

（業務上の留意事項）

第 11 条 業務上特に留意する点は、下記のとおりとする。

- 1 測量作業規程等を熟知し作業に取り組むこと。
- 2 測量のために土地に立ち入る場合は、発注者が行う関係者への周知に協力すること。
- 3 本業務において生じた第三者との紛争は、受注者の責任において処理しなければ

ならない。

- 4 現地調査を行う場合は、農作業に支障がないよう配慮すること。
- 5 設計にあたっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- 6 第7条、第8条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料並びに請負者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- 7 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- 8 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に調査職員へ説明するものとする。
- 9 履行期限内に成果品の提出を指示された場合は、速やかに提出するものとする。

第4章 管理技術者、照査技術者

(管理技術者)

第12条 管理技術者は、各共通仕様書の規定によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	農業部門	農業土木、農業農村工学
	総合技術監理部門	上記と同様とする。
シビルコンサルティン グマネージャー	農業土木部門	
博士	農学	

(照査技術者)

第13条 本業務の実施に当たっては、委託契約書に規定する照査技術者を配置しなければならない。

- 1 照査技術者は、各共通仕様書の規定によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	農業部門	農業土木、農業農村工学
	総合技術監理部門	上記と同様とする。
シビルコンサルティン グマネージャー	農業土木部門	
博士	農学	

- 2 照査計画の作成にあたっては、照査の方法、事項について調査職員と協議のうえ作成するものとする。
- 3 成果物の照査に用いる資料は、調査職員と協議するものとし、作成した資料は、報告書に含めて提出するものとする。
- 4 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することができない。

第5章 打合せ

(打合せ)

第14条 打合せ時期及び回数等については次のとおりである。

回	作業段階	備 考
第1回	作業着手前	測量・設計業務の基本的事項及び業務計画について打合せをする。調査職員と現地踏査を行う。
第2回	中間打合せ	設計(細部条件・構造細目)の打合せを行う。
第3回	中間打合せ	測量・設計(細部条件・構造細目)の打合せを行う。
第4回	中間打合せ	設計(細部条件・構造細目)の打合せを行う。
第5回	成果品納入前	成果品の取りまとめ方等の打合せを行う。

※いずれの場合も業務打合簿により確認する。 測量2回、設計5回計上

第6章 成果物

(成果物)

第15条 提出すべき成果物及び提出部数は、共通仕様書に掲げるもののうち次に示すものとする。

成果物	規 格			部数	備考
	品質サイズ	縮尺	仕上げ法		
1. 報告書	A-4	—	—	2部	説明書 計算書
2. 数量計算書	A-4	—	—	〃	
3. 設計(調査)図面	A-1 A-3	—	—	1部 2部	白焼き1部 縮小見開版
4. 電子成果品	電子媒体 CD-ROM	—	—	2部	各報告書に添付すること

※すべての電子データをCD等により納品すること。

(成果物の装丁等)

第16条 成果物の装丁等は下記によるものとする。

- 1 報告書、数量計算書は1冊にまとめること。
- 2 装丁はパイプ式ファイルとし、原稿はバインダー式ファイルとする。なお、設計図はA-4版の箱とし、原図はA版半折図面ファイルとする。
- 3 提出先は、青森県青森市長島2丁目10-3 青森フコク生命ビル7階 東青農林水産事務所 農道ほ場整備課とする。